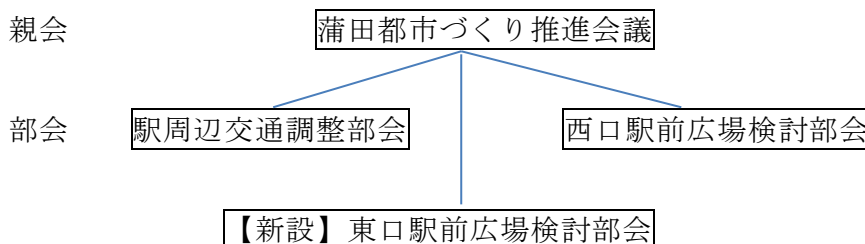


東口駅前広場検討部会の設置

1 設置の目的

蒲田駅周辺再編プロジェクト（以下、「再編プロジェクト」という。）に基づき、初動期における東口駅前広場整備を推進するために、必要な具体的内容を検討することを目的として、蒲田都市づくり推進会議の部会（下部組織）として東口駅前広場検討部会（以下、「検討部会」という。）を設置する。

※参考：組織図



2 再編プロジェクトによる東口駅前広場の初動期整備事項

- ・ 駅ビル側歩道を大幅に拡幅し、駅とまちを結ぶ快適な歩行者動線を確保する。
- ・ 補助 36 号線のバス降車場を広場内に配置し、バス利用者の利便性を向上する。
- ・ 交通島を活用したタクシー待機場を確保する。
- ・ 大田区画街路第 7 号線から補助 36 号線方向の一般車両の動線を分離し、駅前広場内の進入を抑制する。
- ・ 地下自転車駐車場の整備で、暫定自転車駐車場を解消し、駅周辺の放置自転車を解消する。

3 検討事項

検討部会では、再編プロジェクトの整備事項の内容を補完するような検討を行うこととする。具体的には、歩道空間のデザインコンセプトを検討するとともに、コンセプトを踏まえ以下の道路構造物のデザインについての検討を行い、推進会議へ提案していくものとする。区としては推進会議での検討を経た後、基本設計もしくは詳細設計に反映させていく。

- ・ 既存モニュメントの取扱い
- ・ 舗装デザイン
- ・ 植栽配置パターンや樹種
- ・ 照明配置や灯具
- ・ 付属施設（車止め・ベンチ・シェルター・防災施設・サイン等）

4 検討にあたっての諸注意事項

検討に当たっては、関係法規や施設管理者（交通管理者、道路管理者、駅ビル等）の整備条件を遵守するとともに、整備後の維持管理の利便性も考慮し、経済性・汎

用性が高いもので検討する。

また、交通施設（バス・タクシー等）の再配置等にかかることについては、初動期整備後の歩行者の利用状況等を踏まえて、再編プロジェクトの中・長期整備の中で検討する。

5 対象範囲



6 会議の運営方法

会議は公開で開催し、検討内容を親会である「蒲田都市づくり推進会議」に報告する。

7 想定スケジュール

H29 年度	検討部会立ち上げ
H30 年度以降	デザインコンセプト作成、各種デザイン案の検討 報告書作成、推進会議への報告

8 構成員

別添「東口駅前広場検討部会構成員名簿」のとおり